

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく由良川の取組方針の実施状況表

具体的な取組の柱		取り組み内容	課題番号	目標時期	令和5年3月までの取組状況										目標時期(各年ごと)		
事項					○：未実施 ●：実施済み ▲：実施中 ー：対象外										R4(R3と比較)	R5	
具体的取組	水系				福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	京都府	気象台	国	西日本旅客鉄道株式会社	WILLER TRAINS株式会社	住民			
(1) ソフト対策の主な取組																	
①地域特性を十分に考慮した迅速かつ確実な実現に向けた取組																	
■防災関係機関の連携	由良川	・風水害体制時活用サイト集を共有	1	毎年度	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—		実施予定	
		・年度始めに担当者会議を開催し、災害担当者に周知		毎年度	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—		実施予定	
		・WEB会議を活用した多機関同時の情報共有		毎年度	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—		実施予定	
		・年度初めに「首長ホットライン」「担当者ホットライン」を確認し、地域防災訓練において、ホットラインの訓練を実施		3	毎年度	●	●	●	●	—	●	●	—	—	—		実施予定
		・タイムラインについて、連携機関を広げるブラッシュアップに努める。		6	令和7年度末	●	▲	▲	○	▲	▲	▲	●	▲	—	福知山市実施済	実施予定
		・無埋地区等における避難のタイミングについて検討し、必要に応じてタイムラインに位置付ける		9	令和7年度末	▲	●	●	○	▲	—	●	—	—	—	京都府実施中	実施予定
		・災害時や感染症蔓延下において当該市内の避難所だけで避難者を収容できない場合は、隣接市の避難所や民間施設等の利用、分散避難（在宅避難、垂直避難、親族や知人宅への避難等）について検討や調整を実施し、必要に応じて広域避難体制の構築や避難計画の見直しを実施。		14	令和7年度末	▲	▲	●	○	—	—	—	●	●	—		実施予定
■災害リスクの表示	由良川	・計画規模降雨及び想定最大規模降雨時の氾濫シミュレーションについて、浸水ナビ登録にて提供	8	令和7年度末	—	—	—	—	▲	—	●	—	—	—		実施予定	
		・まるごとまちごとハザードマップなど災害リスクの現地表示を実施		令和7年度末	●	○	○	○	○	—	●	—	—	—	国実施済み	実施予定	
		・想定最大規模降雨時の洪水浸水想定区域図等を反映した水害ハザードマップの周知	15	令和7年度末	▲	●	●	●	●	—	●	—	—	—		実施予定	
		・由良川流域に位置する市管理の洪水予報河川・水位周知河川以外の河川について、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」に基づき、氾濫推定図の作成を進める		16	令和7年度末	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—		実施予定
		・京都府の洪水浸水想定区域図、市の氾濫推定図をハザードマップに反映し、リスク情報の空白域の解消を進める			令和7年度末	▲	▲	●	●	●	—	—	—	—	—	舞鶴市実施中	実施予定
・由良川流域に位置する京都府管理の洪水予報河川・水位周知河川以外の河川について、想定最大規模降雨時の洪水浸水想定区域図等の作成・公表・周知	16	令和4年度末	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—		実施済み			
■避難情報等の発令基準の策定	由良川	・想定最大規模降雨時の浸水範囲や浸水深等を踏まえ、①由良川沿川の道路が全線にわたり冠水したり地区全体が大きく水没するなど垂直避難が不可能な地区については、広域的な避難が出来るよう発令基準を従来より早めるほか、②毎回想定最大規模の水害に対する避難体制をとることが困難かつ現実的でないと考えられる場合は、計画規模等の水害に対する1次避難から2次避難への移行判断基準を設けるなど、地区の実情に応じた避難情報の発令基準を検討し取り決める	5	令和7年度末	●	▲	○	○	—	—	○	—	—	—	福知山市実施済	実施予定	
		・想定最大規模降雨時の浸水範囲や浸水深、感染症蔓延下等も踏まえた（必要に応じ広域的な）避難体制（避難所関係含む）の再構築・検討を実施。この際、避難行動要支援者への配慮を適切に行う		12	令和7年度末	●	▲	○	○	—	—	—	—	—	—	福知山市実施済	実施予定
		・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成をできる限り早急に行う。		13	令和3年度末	▲	▲	●	●	—	—	—	—	—	—	宮津市実施済	実施予定
		・小中学校における避難確保計画の作成を行う。			令和7年度末	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	宮津市実施済	
■避難行動のための情報発信等	由良川	・激甚化する豪雨災害に対応し、分かりやすい防災気象情報の提供に努める。令和3年度は記録的短時間大雨情報の改善と警戒レベルに対応した高潮警報に改善を行う。	2	令和3年出水期前	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—			
		・夜間の避難が困難なことから、早めの避難情報等の発令や避難所開設を行う場合があることを住民に予め周知。引き続き、空振りを恐れない早めの避難情報等の発令を実施		7	令和7年度末	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—		
		・避難行動のための情報伝達手段の充実及び多様化		10	令和7年度末	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—		
		・避難行動要支援者に対する確実な情報伝達を支援		11	令和7年度末	▲	●	●	●	—	—	—	—	—	—		実施予定
■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充	由良川	・施設では守り切れない大洪水は必ず発生するとの考え方に立ち、想定最大規模降雨時の水害ハザードマップを活用した地域住民が参加する避難訓練を実施	17	毎年度	●	●	●	○	●	○	●	—	—	○		実施予定	
		・タイムラインのシナリオに基づく地域住民が参加する避難訓練を実施。その際、避難行動要支援者の避難も想定		毎年度	●	●	●	○	○	○	○	—	—	○		実施予定	
		・要配慮者利用施設における避難訓練を実施	18	毎年度	▲	●	▲	●	▲	○	▲	—	—	○	京都府実施中	実施予定	
		・自主防災組織への出前講座を継続し実施するとともに、学校関係については、対象を小中高校生徒だけでなく、先生等を対象としたものに拡大し、地域の水防災意識を高める	19	毎年度	▲	●	●	●	●	○	●	—	—	○		実施予定	
・防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、指導計画の作成支援に着手、作成された指導計画を関係市の学校に共有。	令和7年度末	●		●	●	○	○	●	●	—	—	○	気象台実施済	実施予定			

